

福井新聞 平成23年 5月28日

株式会社 身のこなしラボラトリー

筋肉の動き 音、光に

福井大発のベンチャー 正尹名譽教授と開発した。

企業「身のこなしラボラ 「マッスルアライブ」 音や光で筋肉の動きがトリ」(本社福井市照手町4丁目、岡本耕至社長)は、筋肉の動きを測定し音や光に変換する小型センサーを開発した。活動電位を測定、コンビを図ったり、力まない状態に張り付けて運動する。ユーザー処理で瞬時に音態を確認でき、トレーニング

福井大発 ベンチャー 小型センサー開発

れば筋力の大きさによって音色や光が変化する。運動のモチベーション向上や効率的な筋力強化に効果が期待されている。人体の機能に関する研究に取り組む同大の吉澤

や光に変える。筋肉の活動の質向上につながる。音が活発になるにつれ、という。

音は高音で頻繁に鳴り、既に市内のスポーツクラブに導入されており、光は緑から赤に変化する。今後、リハビリやダイエット施設へも売り込む。価格は1万9800円。



筋肉の動きを測定し音や光に変換するセンサー「マッスルアライブ」福井市照手町4丁目の「身のこなしラボラトリー」